

浜松市議会議員

田口 章 後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053 - 447 - 3820
夜 053 - 440 - 7100

平成 20 年 8 月 1 日

創ろう！元気な浜松

5 億円の市民負担減！



フォルテの清算～再生が一步前進

7 月 25 日に、浜松都市開発株の株主総会が開催され、新たな清算計画が了承されました。これまで「市が主導してきた責任をとり、14 億円の債権放棄をする」として進めてきた当初の計画に比べ、市民にとっては、大幅な負担軽減となりました。

もとより、平成 15 年に出された「**第三セクターに関する総務省指針(改訂版)**」では、「(清算にあたっての自治体の負担は)出資の範囲内が原則であり、過度の負担を負わないこと」とされていますので、それに沿った清算計画になったということですが、経営者のみなさまのご判断に、心から敬意を表したいと思います。

変わった点(一部未確定金額があります 表中 * 印 項目)

A 浜松市が、当初放棄する予定だった「入居保証金」と「敷金」が返却され、浜松市の収入が約 14 億円増えました。代わりに「出資金」4.5 億円は経営者責任として戻らなくなります。

B 「解体費用」約 4.5 億円は、都市開発株が負担予定でしたが、売却先の遠鉄が負担する予定です。

市民負担 変更前は、債権放棄約 14 億円 - 出資金返却 4.5 億円 = 約 9.5 億円でしたが、変更後は、出資金の 4.5 億円 となります。したがって、市民の税金、約 5 億円の負担を軽減することができました。

今後について

関連項目の議決は 9 月議会となります。議員の中には、まだまださまざまな声がありますが、私は一步前進と考えます。

入居していた市の関連施設は、駅周辺に移転することが決まりつつあります。

また、フォルテの跡地は、解体後、遠鉄が百貨店の増床を計画しています。速やかな都心再生を期待したいと思います。

今後の市政課題は、市の負担分 4.5 億円分の経営責任と、他の第三セクターの経営チェックではないでしょうか。貴重な税金をムダにしないために、これを機に外郭団体の経営状況をチェックしたいと思います。

		項 目	変更前(千円)	変更後(千円)
浜松市	収入	土地(底地)売却	1,250,000	1,250,000
		入居保証金返却	0	1,006,016
		敷金返却 A	0	402,200
		清算分配金 *	450,000	45,860
		収 支	1,700,000	2,704,076
浜松都市開発株	収入		2,340,000	2,608,672
		建物売却	2,340,000	2,340,000
		H20.4～9 収入	-	268,672
	支出		1,340,000	2,572,825
		債務返済	1,340,000	2,261,153
		借入金	365,300	365,300
		保証金	51,811	1,057,827
		民間テナント	51,811	51,811
		浜松市	0	1,006,016
		敷金	119,171	520,170
		民間テナント	119,171	117,970
		浜松市	0	402,200
		流動負債	803,718	317,856
		未払い金	63,609	60,392
		前受金	10,735	0
		負担金(解体費) B	455,000	0
		退職手当引当金	33,463	39,095
移転補償 *	240,911	195,000		
その他	-	23,369		
		維持管理等経費 *	-	311,672
		収支(-) *	1,000,000	35,847
		20 年度期首現預金残高	-	66,064
		清算時、現預金残高 * (+ = 清算分配金)	1,000,000	101,911
		浜松市 *	450,000	45,860
		その他株主 *	550,000	56,051

浜松の行財政改革は進展しているか？

私の最大の政策テーマは「行財政改革」です。

議員になって1年4ヵ月。この間、浜松の行財政改革はどう進んだかご報告します。

行革審の提言は反映されているか？

第一次行革審は、市側からの情報提供が十分でなく、また答申の反映もあいまいな部分がたくさんありました。これに対し、昨年8月にスタートした第二次行革審では、しっかりと情報公開し、共通認識に立って、改善に向けた議論が進んでいます。

こうした中、行革審から、3月に67項目の「中間答申」が出されました。これに対し、市側は102項目に細分化した自己評価を示しました(下表)。

	1補助金	2外郭団体	3人件費	4附属機関等	合計
行革審提言項目	16	17	19	15	67
市による分類	24	27	31	20	102
答申通り実施	14	18	17	15	64
一部実施	8	5	11	4	28
実施時期未定	0	4	1	0	5
実施できていない	2	0	2	1	5

「実施時期未定」の5項目は次の内容です。

- ・外郭団体への関与の基準の設定
- ・医療公社の解散理由・損失補償等の公表
- ・外郭団体の役員の削減
- ・医業収益比率の向上
- ・住居手当の見直し

「実施できていない」は次の5項目です。

- ・行政連絡業務委託単価の削減
- ・区役所業務上乗せ委託費の抑制
- ・転勤を理由としない住居手当の廃止
- ・一般職員への成績給の導入
- ・附属機関等の委員報酬の見直し

コラム マイバッグ・マイバスケ持参運動

10月1日から、浜松市内のスーパーで、**レジ袋の無料配布を中止**します。

資源の有効利用やゴミの減量化、さらに石油資源の節減や地球温暖化防止が求められる中、浜松市は、マイバッグ・マイバスケ持参運動をスタートすることにしました。

8月下旬から、市内のスーパーマーケットなどで、「マイバッグキャンペーン」を始め、その後、事業者と協定を締結。10月から締結業者でのレジ袋無料配布を中止します。

現時点では、スーパーマーケット13社58店舗、ドラッグストア1社4店舗の、14社62店舗が予定されていますが、今後、さらに協力いただけるお店を募集します。今のところ、コンビニは消費形態から対象外となる予定です。

たかがゴミと侮るなかれ。ゴミの減量も、ゴミ処理費用の低減につながる、立派な「行財政改革」です。こうした取り組みを機に、みなさんも、身近なところから、できることをやっていきましょう。

最後の項目「委員報酬の見直し」は、2月議会に見直し案が提案されたのですが、議会で否決され、実施できなかったものです(私の所属会派「市民クラブ」は賛成しましたが、賛成少数で否決されました)。

7/27に行われた行革審の公開審議会では、この自己評価に対する意見が出されました。

市が「実施」と評価したものの中には、「検討する」というモノがいくつかあります。

行革審は、「“検討”は“実施”とはいえない」と厳しく指摘しましたが、まさにそのとおりです。今後、着実に実施につなげるために、議会でしっかりとチェックしていきます。

行革審のHPに詳しい評価資料があります。詳しく知りたい方はご覧ください。

<http://www.h-gyoukaku.jp/>

やすとも市長の通信簿(?) 浜松市平成 19 年度決算速報より

7/17 に浜松市の H19 年度決算速報が発表されました。企業の決算は、経営の通信簿のようなものですが、さしずめ、今回の決算はやすとも市政 1 年目の通信簿といえます。

予算を立てたのは前市長でしたが、私は、十分合格点！だと思います。

実質収支は 61 億円の「黒字」

実質収支が赤字では大問題です。ただし企業と違い、黒字だからと言って喜んでいる場合でもありません。

自治体財政の実質黒字には大きな意味はありません。新たな借金や地方交付税など国からの財源も歳入に含まれる中で、たまたま収支がプラスだったというだけです。

現実には、5000 億円を超える借金を抱える財政状況ですので、決して行財政改革の手綱を緩めてはいけません。

借金は着実に削減

H19 年度末の借金は 5493 億円となり、1 年前の借金 5631 億円から、138 億円削減しました。

当初計画では、期末残高 5550 億円の見込みでしたから、当初の削減計画の 81 億円から、さらに上乗せして、57 億円前倒して削減したことになります。

すばらしい！市長と担当部門の財政運営です。

この調子で財政運営を進めれば、「H26 年度末に 5000 億円未満」という、中期財政計画の目標を前倒することも可能ですし、何よりも「子どもたちにツケをまわさない」政治が進むことになります。私は大歓迎です。

国の借金はまったく減りませんが、地方は努力すれば改善できるのです。地方分権が進む中、「地方自治」をますます強化したいものです。

貯金(基金)は増加

貯金(基金)の合計は約 245 億円です。幅広く使える「財政調整基金」は 4 億円増え、147 億円になりました。また、特定の目的をもった「その他の基金」は合計で 24 億円増え、98 億円になりました。

決算速報の感想(ちょっとひといき)

民間企業では、3 月末で締めて、4 月末には決算発表しますが、自治体の決算はタイムラグが大きいです。加えて、会社でいえば株主総会に相当する「市議会・決算審査特別委員会」は 10 月下旬ですから、来年度の予算策定に反映するのが難しいですね。

最も大きな理由は、「出納(すいとう)整理期間」という制度だと思います。これは 3 月末に年度が終わった後も、5 月末まで、その年度の収入支出の経理を行うことができるという制度です。

自治体会計は、企業と違い、「現金主義」という制度で運用しています。この背景は「その年度の支出は、その年度の収入でまかなう」という原則ですが、スピードが求められるこの時代になんと悠長な…、って気がします。

財政 4 指標も合格点

財政健全化法の施行に伴う「4 指標」を、他都市に先駆けて 1 年前倒して公表しました。

財政情報の公開に前向きな浜松の姿勢をあらわすとともに、国の示している健全化基準をクリアしていることもわかりました。

この指標は「夕張市」のような自治体破綻を未然に防ぐために、国が新たに導入したチェック指標です。

企業が「単独決算」から「連結決算」を重視し、また、「退職給付債務」など、将来負担に備えた会計手法をとっているのに対し、自治体では「一般会計」や「普通会計」しか公開していない都市もたくさんありました(企業でいえば「単独決算」だけ)。

今回導入された指標の特徴を簡単にいえば、「企業会計の手法を加味したもの」と言ってよいでしょう。4 指標の公開により「連結決算」や「隠れ借金」を明らかにすることにより、今後、自治体財政の情報公開が進みます。

浜松はこれまでも、特別会計や企業会計を含めた「総会計」で財政を公表していました。また複式簿記も導入し、バランスシートも公表しています。民間企業とは資産評価の精度など違いはありますが、前向きな姿勢は評価してよいと思います。

その他の特徴点と課題

財政力指数は 0.89 0.91 へ(3 か年平均)。

ただし単年度は 0.94 0.93 とダウン。

公債費比率は 15.1% で変わらず。

経常収支比率は 83.6% 86.4% へ

やや財政が硬直化しています。

累積滞納額は 70 億円 76 億円へ増加。

さらなる対応強化が求められます。

決算内容については、10 月の決算審査特別委員会に向けて、さらに調査研究します。

みなさんの代弁者として、市の行財政改革を推進できるよう、しっかりとチェックします。



「学校規模適正化」が市政課題のひとつになっていますが、過疎化が進む天竜区では、現実的な話としてこの取り組みが進み、それに伴い廃校が増えています。

今日、至誠会(新人議員の会)で、廃校の利活用状況について視察しました。天竜区内には、幼稚園や分校を含め、21の廃校があるそうです。このうち比較的最近(H15年以降)廃校になったところは、小学校5校、中学校9校です。

今日の視察先はわずか4ヵ所ですが、「現状を見て、資産を有効に使う」という視点で調査しました。浜松市では今年度から、「ファシリティマネジメント(資産経営)」の取り組みを始めましたが、その実践に向けた有意義な視察でした。

総括的には、地理的に“売却”は困難なところが多く、地元の団体やNPOの活躍の場として利用されているところもありますが、有効活用するには、いろんな人が知恵を出し合う必要があると感じました。

その上で、「協働できるところはやる。そうでないところは維持管理費をかけない(解体)」というメリハリが必要だと感じました。

以下にいくつかの視察先を報告します。

この続きはブログをご覧ください。

http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2008/07/731_c753.html

最新の記事はコチラからどうぞ!

創ろう! 元気な浜松【浜松市議会議員 田口 章】

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

【編集後記】

暑い日が続きます。みなさん、体調にはお気をつけください。議会はただいま閉会中ですが、8月下旬から、9月定例会に向けた活動が始まります。また、今月は「社会保障制度」の集中研修に行く予定です。今、事前勉強として浜松市の福祉施策の概要を調べています。知識をつけて、研修を受けて、現場を見て、制度の改善につなげていきたいと思っています。行財政改革の果実は、子どもや福祉に配分すべきです。(章)

7月の活動報告

- 01(火) 市制97周年記念式典
- 02(水) 堀留川を考える住民会議
- 07(月)~10(木) 市民クラブ視察
仙台市・八戸市・青森市
浜松市東京事務所
- 12(土) ソミック石川夏まつり
- 14(月) 政策法務セミナー(名古屋)
- 18(金) スズキ労連 労使会議
- 24(木) 静岡県市町議会議員研修会
- 25(金) 行財政改革推進特別委員会
堀留川を考える住民会議
- 26(土) 大平台夏まつり
- 27(日) JP 労組大会
- 28(月) 建設委員会
- 31(木) 至誠会(新人議員の会)

8月の活動予定

- 01(金) 斉木武志を育てる会
- 05(火) 県教組意見交換会
- 07(木) 多文化共生勉強会
- 08(金) 入野地区自治会連合会
- 09(土) ふるさと夏まつり(佐鳴湖花火大会)
- 10(日) 佐鳴湖クリーン作戦
天竜 水フォーラム
- 16(金) 入野地区ソフトボール
- 17(土) ポートフェスティバル in 天竜
- 18(月)~22(金)
社会保障制度研修会(大津)
- 24(日) スズキ労組役員研修会
- 25(月) 建設委員会
- 28(木) 全員協議会
- 29(金) 戸田久市氏受賞祝賀会
- 30(土) アツミック労組大会
ユタカ技研労組大会
バイクのふるさと はままつ 2008
スズキ磐田夏まつり

【田口 章 プロフィール】

昭和37年1月23日生(46歳)

好きな言葉

- ・おもしろきこともなき世をおもしろく
- ・今より早いときはない

【連絡先】

事務所(スズキ労働組合)

〒432-8062

浜松市南区増楽町20 TEL053-447-3820

会派(浜松市議会市民クラブ)

〒430-8652

浜松市中区元城町103-2

TEL053-457-2496